

★ 輝いている人を紹介します

まちのキラリ

第46回福島県消防操法大会 伊達市代表

伊達市消防団保原支団

第3分団（柱田・所沢地区）

清野晶彦さん

高橋常吉さん

松浦敬也さん

谷口祐貴さん

柳沼正一さん

高橋英樹さん

消防技術の向上や消防活動の円滑な遂行を目的とし、福島県で隔年で実施される消防操法大会。令和8年度大会で伊達市代表を務めた保原支団第3分団の皆さんが、大会に出場し気付いたこととは…。

清野晶彦さん（指揮者）・谷口祐貴さん（3番員）が
最優秀選手として表彰されました

大会当日を迎えて思うこと

真っ先に思うことは【感謝】

です。大会と同じ形式で訓練を行うためには、防火水槽の設置やホースの巻き取り、火点など資機材の準備や撤収を行う協力団員が不可欠です。更に他分団の先輩たちや常備消防署からも指導をいただきました。消防ポンプ車操法は6人で行いますが、訓練1回あたり約40人以上の協力により、4月から大会前日までの4カ月間、週2回の訓練を実施することができました。関係する皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

その恩返しに、自ら地域を守る存在である消防団の一員として、自分たちにできる形で大切な郷土の安全・安心に貢献していきたいと思っています。

消防操法大会に初めて出場して

消防団は「団員それぞれがしっかりと役割を果たすことが重要」であることを学びました。消防ポンプ車操法は指揮者、1番員から4番員と補助員

の計6人でチームとなります。言い換えれば、6人いれば消防ポンプ車による消火活動が可能となります。私たちが学んだ操法の役割ごとの動きには、一切無駄がないことに気付かされました。これは、先輩団員の努力と技術の賜物であり、今度は自分たちが研鑽を積み、後輩団員に繋いでいきたいです。



Profile ●やぎぬま しょういち

昭和56年生まれ。4番員。

Profile ●せいの あきひこ

昭和44年生まれ。指揮者。

Profile ●たかはし つねよし

昭和52年生まれ。1番員。

Profile ●たかはし ひでき

昭和51年生まれ。補助員。

Profile ●たにぐち ゆうき

昭和63年生まれ。3番員。

Profile ●まつうら たかや

昭和63年生まれ。2番員。

大会の様子や消防団の活動はこちら▼



伊達市消防団
Instagram